

# 標津文教施設等整備事業 基本構想・基本計画策定支援委託業務

## 公募型プロポーザル審査要領

### 1. 趣旨

本要領は、標津文教施設等整備事業 基本構想・基本計画策定支援委託業務公募型プロポーザル実施要領（以下、「実施要領」という。）に基づき実施する公募型プロポーザル（以下、「プロポーザル」という。）を公平公正に実施するための審査基準を定めるものとする。

### 2. 審査の実施主体

- (1) プロポーザルの審査は、標津文教施設等整備事業 基本構想・基本計画策定支援委託業務公募型プロポーザル選定委員会（以下、「選定委員会」という。）が実施する。
- (2) 公平公正な審査を担保するため、選定委員会の委員の所属、氏名等は一切公表しない。
- (3) 審査に関する最終権限は、選定委員会の委員長が有するものとする。
- (4) 審査の実施に必要な庶務は、教育委員会教育施設建設準備室（以下、「委員会事務局」という。）において処理する。

### 3. 参加資格要件

- (1) プロポーザルの参加資格要件は、実施要領「4. 参加資格要件について」記載のとおりとする。
- (2) 参加申込書を提出した者が参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

### 4. 1次審査（書類審査）

プロポーザルを効率的に実施するため、参加申込書を提出した者が5社を超えた場合は、参加申込書の業務実績書、管理技術者等の経歴を委員会事務局のうち主担当（室長、専任職員）を除く職員が「6. 審査基準」に従って個別に評価・採点し、合計点数が上位5者に対し提案書の提出を要請して、2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング審査）を行う。

ただし、参加申込書の提出が5社以下の場合は1次審査を省略し、2次審査を実施する。その場合は、2次審査で審査項目の重複を除く1次審査の評価項目を審査する。

### 5. 2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング審査）

2次審査は提案者の業務実績・体制、取組方針、理解度、技術提案及びヒアリングについて選定委員会を開催し、「6. 審査基準」に従って各委員が個別に評価・採点し、最高得点を得た者を本業務の受託業者候補として特定する。

同一の最高得点を得た業者が2者以上である場合は、その者のうち1次審査と2次審

査の合計点で最高得点を得た者を本業務の受託事業者候補として特定する。ただし、参加申込書の提出が5者を超えず1次審査が省略された場合で、同一の最高得点を得た業者が2者以上である場合は、「6. 審査基準(4)」2次審査評価項目の合計点で最高得点を得た者を本業務の受託事業者候補として特定する。

## 6. 審査基準

### (1) 評価方法

1次審査、2次審査それぞれの評価項目に沿って、同(2)の6段階で評価を行う。

### (2) 評価項目の得点化方法

評価者1人あたりの評価点を下表の得点化方法により算出し、合計点で評価を行う。評価者全員の評価点の合計を事業者ごとに集計する。

評価	判断基準	得点化方法
S	特に優れている	各項目の配点×1.0
A	優れている	各項目の配点×0.8
B	良い	各項目の配点×0.6
C	普通	各項目の配点×0.4
D	やや劣る	各項目の配点×0.2
E	劣る	各項目の配点×0.0

### (3) 1次審査評価項目

評価者1人あたり評価点の合計を25点満点として評価する。

評価項目	評価基準		配点	評価	評価点
実績・資格	業務実績1	同種、類似業務の実績を有しているか	5		
	業務実績2	標津町に類似した地域での同種、類似業務の実績を有しているか	5		
	ワークショップ支援の実績	同種、類似業務の実績を有しているか	5		
	管理技術者保有資格	資格の内容を評価する	5		
	管理技術者等実績	同種、類似業務の実績を有しているか	5		
			25		

(4) 2次審査評価項目

評価者1人あたり評価点の合計を75点満点として評価する。

評価項目	評価基準		配点	評価	評価点
資格・実績	管理技術者保有資格	資格の内容を評価する	5		
	管理技術者等実績	同種、類似業務の実績を有しているか	5		
体制	業務体制1	業務を総括する管理技術者は、責任者として必要な知識、経験、能力を有しているか（資格・業務実績）	5		
	業務体制2	業務を総括する管理技術者は、地域特性・地域事業に精通した知識、経験を有しているか（業務実績）	5		
	業務体制3	業務実施体制は充実しているか。	5		
取組方針	業務実施方針	現状と課題を踏まえて業務目的を理解しており、専門的知見からふさわしい提案を行える方針を示している	5		
	業務実施手法	義務教育学校の開校を見据えた十分な発想力があり、本業務を進める上での課題認識と解決に向けた方向性について独自性・先進性のある提案内容となっているか	5		
	業務実施手法	複合施設の建設を見据えた十分な発想力があり、本業務を進める上での課題認識と解決に向けた方向性について独自性・先進性のある提案内容となっているか	5		
理解度	特徴理解	複合施設の特性や地域の特性を十分に理解した検討の進め方であるか	5		
技術提案	独創性	工学的知見に基づく独創的な提案か。	10		
	実現性	提案内容の実現性が高いものであるか。	10		
	説得力	説得に説明力があるか、論理的か	5		
	理解度・専門技術力	提案内容を明確にわかりやすく説明しているか	5		
			75		